

クラブ協議会 ～地区研修協議会の報告～

司会進行

山下 憲男次年度幹事

4月12日(木)ハイアットリージェンシーに於いて地区研修協議会が開催されました。出席の皆様、お疲れ様でした。今日は研修協議会の報告をお願いします。

会長・幹事部門

奥山 聡次年度会長

分区毎にくじ引きをして、当たった人が来期のクラブ運営の発表でしたが、私が当たり発表いたしました。簡単に説明しますと、先週、西村会員の職業奉仕の卓話で配布された『職業奉仕・この素晴らしきもの』の中に、「ロータリークラブの会員であることと、ロータリアンであることは違う」と書いてありました。非常に感銘を受けました。人は成長する時に持ち物を増やすことで変わったと考えがちです。例えば、地位、能力、肩書、お金です。これは全部持ち物です。では何かというと、「生き様」です。どのように生きているか、生き方がどのように変容しているかという観点が大事であるという考え方は私は好きです。正に「ロータリークラブ会員は肩書で持ち物。ロータリアンは生き様。」と言われていたように感じました。ロータリーは学びの場と思っていますので、1年間を通して、考え、確認し、思い直し、改めるといった活動にしたいと思えます。と話して参りました。



クラブ奉仕部門

西村 美智子次年度副委員長

次年度 RI 会長のテーマは、『インスピレーションになろう』です。前向きな変化を生み出し、私たちが直面する課題に勇気と希望、そして創造性をもって正面から立ち向かう意欲を、クラブ、地域社会、そして組織全体から引き出すための「インスピレーション」で、自分が発信元というイメージです。



国際ロータリーの目標と地区ターゲットに基づいて、クラブは運営します。

国際ロータリーの目標は、クラブのサポート強化、人道的奉仕の重点化と増加、公共イメージと認識度の向上です。

地区のターゲットは『研修』と『活性化』です。『研修』は、RLI (ロータリー・リーダーシップ研修会) を立ち上げます。新入会員研修会は従来とは異なる研修会だそうです。『活性化』は、ガバナー補佐を今までの2倍の13名態勢にし、クラブの情報を吸い上げるとともに、一緒に考えて行きましょうということです。そして、ビジョン委員会を設置し、ロータリーの将来像や会員減少などについて話し合います。

地区クラブ奉仕委員会の目標は、RI 目標、地区ターゲットを踏まえ5つあります。

1. RLI 参加推進 これは当地区では、まだ立ち上げてないので、他地区に出向き、ロータリアンとして学ぶべきことを缶詰め状態で勉強します。参加は希望者ではなく会長の推薦です。
2. My Rotary の登録推進 他のクラブの情報も得られるので、最大限活用して下さいということです。お茶の水の登録は少なく4名です。小平、東久留米、臨海などは100%でした。
3. 地区 Facebook の有効活用 RI の公共イメージと認識度の向上に結び付きますが、「奉仕活動情報交換研究会」との連携運用を考え、イメージを上げて行きます。

しょうということです。昨年度は大型ビジョンで広告を出しましたが費用が高むので、今回はコスパを考え、Facebook にするという事です。

4. クラブ研修の充実 分区毎のクラブ会長・クラブ奉仕委員長会議を開催。副委員長が次年度の委員長になるのであれば、2年間あるテーマについて勉強できるので、2年のタームで考えているようです。座学だけではなく、テーブルディスカッションを交え心に残る研修の予定です。

5. 『奉仕活動情報交換研究会』(仮称) 成功例などの情報交換をする。

多田カウンセラーの印象に残ったお言葉がありました。ロータリアンとしてしなければならないことは3つだけ。1. 人頭分担金を払う 2. 例会出席 (最低2回) 3. ロータリーの友の購読 それ以外は推奨されているだけで、各クラブに運用を任されている。今年のターゲットの『研修』について、現象面ばかり見て、本質を見ていないのではないかと。「本質」とは、なぜロータリアンになったのか、なるのか。安直な気持ちでリクルートすると、そういう会員は退会する。結果、活性化しません。「現象面」は、女性入会させる、主婦でもよい等言われているが、本質を考えた方がよいというお話でした。

職業奉仕部門

岩佐 彰彦次年度委員長

ロータリーでは、高潔性と高い倫理が重要視され、「四つのテスト」と「ロータリーの行動規範」の二つが倫理的行動を実践するための指針となっています。



クラブで職業奉仕を推進するために

1. 地区職業奉仕委員長と連絡をとる。
2. 1月の職業奉仕月間は職業奉仕にスポットを当てる絶好の機会となるため、積極的に活動を行う。
3. ニュースレター、ロータリー奉仕の最新情報を登録、受信する。
4. 日本のロータリアンによる様々な奉仕の体験談を参照すべく、ロータリー公式ブログ日本版を閲覧する。
5. My rotary に登録・ログインすることにより、ロータリーフォーラムに参加し、アイデア、意見、体験談の紹介などを行う。などを推奨されました。

次に1974-75年度、第358地区ガバナーの佐藤千寿氏「脚下照顧」の冊子が紹介されました。これは人間万事、まず、自分の足下をよく見て行動せよということであり、職業奉仕とは、各個人がいかにか生きるか、という生活態度を問うことでありました。当冊子では佐藤千寿氏のご友人、モントリオール国際大会委員長 ジャックプライド氏の職業奉仕の定義、「職業奉仕とは我々がその職業において、または職業を通して、他人に幸福をもたらすことであり、他人に奉仕すること。」を強く主張されており。

最後に2017-18年度 職業奉仕委員会 林委員長作成の年表及び、深川純一氏の「職業奉仕この素晴らしきもの」の講演内容の紹介がありました。

社会奉仕部門

笠原 健太郎次年度委員長

途中で中座しましたので、今回報告することはできません。社会奉仕がんばります。シンプルに考えて皆さんと永くやって参りたいと思います。

※配布資料より

2018-19年度 社会奉仕委員会 方針

①学ぶ-自分自身・委員会・クラブメンバーが学ぶ

第一に“ロータリーにおける社会奉仕とは何か?” このシンプルな命題について再確認し学んでいこう



と考えます。

② 調べる-これまでに感謝し変革を誘発する

各クラブにおいて、これまでどのような活動がなされてきたのかについて各クラブの歴史や伝統について知っておきたい。

③ 準備と年度設計で楽しく頼もしく行動実践する

私たちの役割年度の前3カ月後3カ月を踏まえた都合18か月について、具体的なクラブ内における計画策定をお願いします。

2018-19 年度 希望の風奨学金支援委員会

- ①各クラブの社会奉仕委員長が自クラブの会員にあらためて周知☆重要
- ②卓話の活用（卓話者：地区委員の派遣）
- ③ I Mでの地区委員から周知スピーチ
- ④地区大会に希望の風奨学生を招待
- ⑤希望の風奨学生の卓話を聞く会の設定
- ⑥クラブで募金活動（チャリティイベント、周年記念等）
- ⑦ I Mでの地区委員の募金活動

国際奉仕部門

木宮 雅徳次年度委員長

国際大会参加推進

積極的に参加しましょうということで、昨年はアトランタ、今年は6月にトロント、来年はハンブルグ、2020年にホノルル、2021年は台北、2021年はヒューストンで開催されます。是非積極的に参加頂ければと思います。



バギオ基金支援

フィリピンにおける日系および一般青少年のために育英資金を提供し、日本への留学支援と日比両国の親善友好に寄与するために、1981年に2750地区と2580地区でスタートしました。現在34地区からの支援があり、奨学生は3579名に至っています。

海外との友好・姉妹提携

当地区は70クラブ中、20が友好・姉妹提携をしていません。わがクラブは提携していない20に入っています。台湾との提携がほとんどです。場合によってはロータリー未開のASEANにあるクラブと友好・姉妹提携を積極的に推進したいと考えております。

自クラブでの国際奉仕の取り組みの発表

当クラブは日系ブラジル人の子供たちへの教育支援、タイ・チェンライの子供たちへの支援、かものはしプロジェクトへの支援をしています。個人的には、米山奨学生 タオさんのベトナムと何かできればいいと思います。

また、先日の日台親善会議で同じテーブルに、台北東海 RCの方がいらっしゃいました。日本語で行っている唯一のクラブです。私は5/2~5/4まで台北で観光イベントがあるので、メイクアップに行きたいと思っております。

青少年奉仕部門

俣野 幸昭次年度副委員長

青少年奉仕には5つのプログラムがあります。インターアクトは高校生対象、ローターアクトは18~30歳、青少年交換は高校生対象で1年間の留学交換です。地区の職場・就業体験委員会も青少年奉仕に入ります。今回新しくRYLA委員会が設立されました。RYLAとはロータリー青少年指導育成プログラムです。委員会がクラブを回り内容を説明しますので卓話に



呼んで頂きたいとのことです。

青少年交換のプログラムは今年で50年です。私が地区委員長の際にハンガリーに派遣した35期の学生がTBSテレビのアナウンサーとして出演していました。青少年交換プログラムは国際的プログラムであり、国際交流、世界平和、将来を担う学生が異文化交流の経験ができるプログラムです。今回の当クラブの来日学生がやっと4thホストファミリーに移動します。今後も皆様の御協力宜しくお願いいたします。

最後に松岡地区青少年奉仕委員長からのメッセージです。「活動の現場に参加することで理解が深まる。青少年は私たちの宝であり、希望であり、未来である。」青少年奉仕をご支援頂ければと思います。

ロータリー財団部門

張 碧華委員長

財団が設立され今年で101年です。次の100年に向けて踏み出した“はじめの一歩”です。



1. ポリオ撲滅

ほぼ目標達成です。あと少しです。

2. ロータリー平和フェロシップ

平和の推進者となる人材を育てるための奨学金制度。現在まで138名の学生です。

3. 地区補助金プログラム

次年度から補助金の上限が60万円になります。当クラブは補助金を使って千代田区へ車いすを寄贈しました。地域のニーズと弱者救済に使われています。

財団のプログラムを理解して頂き、皆様のご寄付をお願いします。

クラブ研修リーダー部門

牛島 聡次年度委員長

クラブ研修リーダーとは、クラブを研修するためのリーダーではなく、皆さんが研修に対して積極的になって頂くための機会作りと考えております。



今回のテーマは「クラブの戦略計画とクラブの活性化」でした。各クラブの現状を客観的に分析し、具体的に解決策を決め、実現のためのロードマップを作成し実行します。従って行動力と団結力が求められます。

後半はテーブル毎のディスカッションがあり、参加者は互いの報告・意見に異議を唱えないというルールでした。積極的に意見が出せる良いルールだと思います。わがクラブのクラブフォーラムにも取り入れたいと思っております。

ロータリアンのアンケートで、クラブに入会する主な理由と留まる理由の上位3つは同じです。1. 社会に貢献したい 2. 友情と親睦を重んじたい 3. 職業人のネットワーク、特に職業能力の開発の機会を得たいです。

来年度は研修リーダーの立場として、クラブ奉仕または、他の委員会と併せて、いろいろな意見を交換をし、クラブの今後を複数年間のロードマップの作成に尽力したいと思っております。

閉会点鐘

牛島 聡会長

創立/1993年10月13日(平成5年)
 事務局/〒102-0073 東京都千代田区九段北1-2-2
 グランドメゾン九段906号
 Tel: 03-3288-7300 Fax: 03-3288-7400
 E-mail: ocha-rc@sirius.ocn.ne.jp
 http://tokyo-orc.jp/

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30
 例会場 ホテルグランドパレス Tel: 03-3264-1111
 会長 牛島聡 幹事 青木隆幸
 会報 木宮雅徳(委員長) 山田丈夫(副委員長)
 土居岩生 小林大介 永井一史(委員)